

2022年3月11日

主催 (公財) ミズノスポーツ振興財団

共催 (公財) 日本スポーツ協会

(公財) 日本オリンピック委員会

## 「2021年度 ミズノ スポーツメントール賞」受賞者決定

(公財) ミズノスポーツ振興財団では、(公財) 日本スポーツ協会、(公財) 日本オリンピック委員会と共催で、1990年度から「ミズノ スポーツメントール賞」を制定しており、2021年度で32回目となりました。この賞は、我が国の競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに、優秀な指導者の育成を目的に制定したものです。

3月11日(金)、グランドプリンスホテル高輪で選考委員会を開催し、以下の通り、受賞者を決定いたしました。

なお、この「ミズノ スポーツメントール賞」の表彰式は、4月20日(水)にグランドプリンスホテル新高輪で行う予定です。

### 【ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド】(トロフィー、副賞200万円)

倉嶋 洋介 氏 (日本卓球協会/木下グループ卓球部監督)

### 【ミズノ スポーツメントール賞 シルバー】(トロフィー、副賞各100万円)

原田 睦巳 氏 (日本体操協会/順天堂大学大学院教授 順天堂大学体操競技部監督)

村上 光輝 氏 (日本パラスポーツ協会/ボッチャ競技 日本パラスポーツ協会・中級障がい者  
スポーツ指導員 日本パラスポーツ協会・障がい者スポーツコーチ)

岡村 良久 氏 (青森県スポーツ協会/スポーツ全般 スポーツドクター)

### 【ミズノ スポーツメントール賞】(トロフィー、副賞各50万円)

杉田 正明 氏 (日本陸上競技連盟/日本体育大学教授 日本陸上競技連盟科学委員長)

本 博国 氏 (日本ボクシング連盟/自衛隊体育学校ボクシング班監督)

ゴルパチュク オクサントル氏 (日本フェンシング協会/日本代表エペコーチ)

増地 克之 氏 (全日本柔道連盟/筑波大学体育系准教授 全日本女子監督)

宗像 富次郎氏 (日本サーフィン連盟/JOC ナショナルコーチ 日本代表監督)

伊田 武志 氏 (鳥取県スポーツ協会/ボクシング コーチ)

佐藤 博水 氏 (山梨県スポーツ協会/剣道 コーチ・ジュニアスポーツ指導員)

永山 久次 氏 (岡山県スポーツ協会/ハンドボール コーチ)

正村 眞弓 氏 (山口県体育協会/ソフトテニス スポーツ少年団登録指導者)

詫間 茂 氏 (香川県スポーツ協会/陸上競技 コーチ)

詳細は別記の通りです。

## 記

名 称 : 2021年度 ミズノ スポーツメントール賞

目的及び : 過去継続して我が国における優秀選手の育成に努めた指導者およびその周辺の指導

選考基準：者、ならびに長年にわたり継続して地域スポーツの振興に尽力した指導者の顕彰

選考委員：委員長 山下 泰裕 ((公財)日本オリンピック委員会 会長)  
委員 上 治 丈太郎 ((一社)日本スポーツツーリズム推進機構 理事)  
" 大 野 敬 三 ((公財)日本スポーツ協会 常務理事)  
" ヨコ ベッターランド ((公財)日本スポーツ協会 常務理事)  
" 佐 藤 直 子 ((公財)日本スポーツ協会 監事)  
" 星 野 一 朗 ((公財)日本オリンピック委員会 専務理事)  
" 小 谷 実 可 子 ((公財)日本オリンピック委員会 常務理事)  
" 水 野 英 人 ((公財)ミズノスポーツ振興財団 副会長)  
※順不同

対象者：国内外を問わず我が国の競技スポーツの指導者および地域スポーツの指導者

受賞者及び選考理由：

### 【ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド】

倉嶋 洋介 氏(くらしま ようすけ)氏 45歳(1976. 5. 24生)

(日本卓球協会/木下グループ卓球部監督)

2012年から2021年東京オリンピックまで9年間、卓球男子ナショナルチーム監督として指揮を執り指導を行ってきた。小学生選手の強化にも加わり、競技力のボトムアップ、意識付けを図り、現在の日本代表選手の活躍に繋がる礎を築き、在任期間中のオリンピックでは2大会連続メダル獲得を果たし、卓球男子を世界の強豪国に押し上げた。

また女子選手と連携した混合ダブルスの指導にも力を注ぎ、2017年の世界選手権で1969年以来の48年ぶりに金メダル獲得。2021年東京オリンピックでは、日本卓球競技初となる悲願の金メダル獲得で歴史的快挙を果たした。

現在も、日本代表選手が所属する母体にて総監督として引き続き世界トップ選手の指導、育成を行っている。

#### 【指導(サポート)した主な選手】

水谷 隼・伊藤 美誠 '21 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)混合ダブルス1位

水谷 隼・張本 智和・丹羽 孝希

'21 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)男子団体3位

吉村 真晴・石川 佳純 '17 世界卓球選手権(デュッセルドルフ)大会混合ダブルス1位

水谷 隼 '16 第31回オリンピック競技大会(2016/リヤド)男子シングルス3位

水谷 隼・丹羽 孝希・吉村 真晴

'16 第31回オリンピック競技大会(2016/リヤド)男子団体2位

張本 智和 '16 世界ジュニア卓球選手権ケープタウン大会男子シングルス1位

### 【ミズノ スポーツメントール賞 シルバー】

原田 睦巳(はらだ むつみ)氏 46歳(1975. 9. 24生)

(日本体操協会/順天堂大学大学院教授 順天堂大学体操競技部監督)

東京オリンピックにおいて、2つの金メダルを獲得した橋本大輝選手を指導し、同選手の個人総合での金メダル獲得は、史上最年少記録を更新する快挙を達成。東京オリンピック出場の、橋本大輝選手以外の萱和磨選手、谷川航選手も直接指導している。

過去のオリンピックにおいても多くの選手を輩出し、2004年アテネオリンピックでは、28年振りの団体金メダルを獲得、続く2008年北京オリンピック及び2012年ロンドンオリンピックでも団体銀メダル獲得に貢献した。また世界選手権でも多数のメダリストを排出し大会にコーチとして帯同し、2015年は37年ぶりの団体総合金メダル獲得に導いた。

【指導（サポート）した主な選手】

橋本 大輝	'21	第32回オリンピック競技大会（2020/東京）	団体総合2位、個人総合1位、鉄棒1位
	'21	第50回世界体操競技選手権大会	個人総合2位、平行棒4位、鉄棒2位
萱 和磨	'19	第49回世界体操競技選手権大会	団体総合3位、個人総合6位、あん馬5位、平行棒3位
谷川 翔	'19	第49回世界体操競技選手権大会	団体総合3位、あん馬9位、鉄棒4位
萱 和磨	'18	第48回世界体操競技選手権大会	団体総合3位、平行棒3位
谷川 翔	'18	第48回世界体操競技選手権大会	団体総合3位

村上 光輝（むらかみ みつてる）氏 47歳（1974. 8. 1生）

（日本パラスポーツ協会／ボッチャ競技 日本パラスポーツ協会・  
中級障がい者スポーツ指導員 日本パラスポーツ協会・障がい者スポーツコーチ）

パラスポーツのなかでも障がいが高く、介助を必要とする選手が多いボッチャ競技において抜群の指導力を発揮し、パラリンピックや世界選手権へ何度も選手を導いている。中でも、リオ2016パラリンピック競技大会では、ヘッドコーチとして選手をサポートし、ボッチャ競技初のメダル獲得に導き、東京2020パラリンピック競技大会では監督を務め、個人、ペア、団体とすべてのカテゴリーでのメダル獲得となった。また、リオ2016パラリンピック競技大会終了後はメダリストとともに地域を周り、ボッチャ競技や障がいへの理解を促進させることで、競技人口拡大とボッチャ競技の普及・強化を図っている。

岡村 良久（おかむら よしひさ）氏 71歳（1950. 4. 14生）

（青森県スポーツ協会／スポーツ全般 スポーツドクター）

1987年に青森県スポーツドクターの会の設立に尽力し、これまで34年間にわたり同会の要職を務め、青森県スポーツ協会において10年間、スポーツ医事相談をボランティア活動として行ってきた。

また、青森県内の選手を医・科学的側面から指導・支援するとともに、県内競技団体の医事組織の設立に尽力し、すべての競技団体に医事組織を設立するための活動を積極的に行っている。

さらに、永年にわたり国民体育大会及び東北総合体育大会（兼東北ブロック国体）の帯同ドクターを務め、現場でのメディカルサポートを積極的に行い、アスレティックトレーナーの帯同に尽力し、派遣を行うとともに、スポーツ栄養士・薬剤師及びスポーツデンティストを含めた総合的なスポーツメディカル・サポートの体制づくりに務めるなど、青森県のスポーツ医・科学の普及・発展に大きく貢献している。

【ミズノ スポーツメントール賞】

杉田 正明（すぎた まさあき）氏 56歳（1966. 2. 19生）

（日本陸上競技連盟／日本体育大学教授 日本陸上競技連盟科学委員長）

30年にわたり連盟の科学委員会に所属し（2012年から現在まで委員長）科学的側面から長く選手を支援し、トラック&フィールド種目では、国内外に分析委員を派遣し、バイオメカニクスのパフォーマンス分析を行い、選手やコーチのみならず、国民に向けて報告書を作成し分析結果のフィードバックを行っている。

またロード種目では長年にわたり暑熱対策に力を入れ、リオオリンピックでは日本競歩史上初のメダルをもたらし、その後の世界選手権及び東京オリンピックでも続けてのメダル獲得に貢献した。日本オリンピック委員会では、情報・医科学専門部会にも所属し、陸上競技に限らず、幅広く競技スポーツを支援している。

【指導（サポート）した主な選手】

池田 向希	'21	第32回オリンピック競技大会（2020/東京）	男子20km競歩	2位
山西 利和	'21	第32回オリンピック競技大会（2020/東京）	男子20km競歩	3位

- 鈴木 雄介 '19 第17回世界陸上競技選手権大会 男子50km競歩 1位  
 小林 快 '17 第16回世界陸上競技選手権大会 男子50km競歩 3位  
 荒井 広宙 '16 第31回オリンピック競技大会(2016/リトヴィニヤ) 男子50km競歩 3位

**本 博国(もと ひろくに)氏 52歳(1970.3.9生)**

(日本ボクシング連盟/自衛隊体育学校 ボクシング班 監督)

19年間にわたり、強化委員長としてナショナルチームの指導に携わり、多くの実績を残している。

海外研修員としてウズベキスタンでの研修を経験した事で、ロシア語を習得、ボクシング強豪国であるロシア、ウズベキスタン等、各国との交流関係を構築。海外遠征などでも積極的且つ継続的に交流した事で、現ナショナルコーチのシン ウラジミール氏の招聘や現在のロシア等での海外合宿をスムーズに行う事ができ、日本チームの強化に尽力した。

【指導した(サポート)した主な選手】

- 並木 月海 '21 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) 女子フライ級 3位  
 田中 亮明 '21 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) 男子フライ級 3位  
 村田 諒太 '12 第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン) 男子ミドル級 1位  
 清水 聡 '12 第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン) 男子バンタム級 3位  
 川内 将嗣 '08 第29回オリンピック競技大会(2008/北京) 男子ライトウエルター級 2回戦

**ゴルバチュク オレクサンドル氏 49歳(1972.10.11生)**

(日本フェンシング協会/日本代表エペコーチ)

2009年より日本代表エペ種目の担当コーチとして指導にあたり、エペ種目を世界のトップに引き上げ、東京オリンピック男子エペ団体戦において日本フェンシング史上初の金メダル獲得に導いた。

また2017~2018年シーズンの男子エペ個人で年間世界ランキング1位(見延 和靖)を、2021年シーズンには日本フェンシング史上初となる、男子エペ団体で年間世界ランキング1位を獲得した。

【指導(サポート)した主な選手、チーム】

- 見延 和靖・山田 優・加納 虹輝・宇山 賢  
 '21 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) 男子エペ団体戦 1位  
 山田 優 '21 第32回オリンピック競技大会(2020/東京) 男子エペ個人戦 6位入賞  
 山田 優 '20 ワールドカップグランプリ大会(ハンガリー) 男子エペ個人戦 1位  
 加納 虹輝 '19 世界選手権大会(ハンガリー) 男子エペ個人戦 6位入賞  
 見延 和靖 '16 第31回オリンピック競技大会(2016/リトヴィニヤ) 男子エペ個人戦 6位入賞  
 佐藤 希望 '16 第31回オリンピック競技大会(2016/リトヴィニヤ) 男子エペ個人戦 8位入賞

**増地 克之(ますち かつゆき)氏 51歳(1970.9.29生)**

(全日本柔道連盟/筑波大学体育系准教授 全日本女子監督)

2006年の筑波大学監督就任以降、コンスタントに世界選手権代表を輩出しメダリストも誕生、大学柔道部としては2015年に全日本学生優勝大会で国立大学として初めての優勝に導いた。2016年からは女子の代表監督として指揮を執り、初めて臨んだ2017世界選手権では金メダル3個を含む、出場した6階級全てでのメダル獲得の他、初めて実施された男女混合団体戦では男子の井上監督と共に協力し、初代優勝に導いた。

その後の世界選手権においても、数々のメダル獲得に貢献し、2021年世界選手権大会では、混合団体戦で4連覇に導き、2021年東京オリンピックでは、女子7階級の内、金メダル4個、銀メダル1個、銅メダル1個そして男女混合団体戦では銀メダル獲得に貢献した。

【指導(サポート)した主な選手】

- 角田 夏実/古賀 若菜 '21 世界柔道選手権大会(ブダペスト) 女子48kg級 1位/2位

志々目 愛／玉置 桃 '21 世界柔道選手権大会(ブダペスト) 女子 52kg 級・57kg 級 1 位/2 位  
大野 陽子／梅木 真美 '21 世界柔道選手権大会(ブダペスト) 女子 70kg 級・78kg 級 2 位/3 位  
朝比奈 沙羅／富田 若春 '21 世界柔道選手権大会(ブダペスト) 女子 78kg 超級 1 位/2 位  
'21 世界柔道選手権大会(ブダペスト) 男女混合団体戦 1 位

渡名喜 風南／阿部 詩

'21 第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) 女子 48kg 級・女子 52kg 級 2 位/1 位  
芳田 司／新井 千鶴

'21 第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) 女子 57kg 級／女子 70kg 級 3 位/1 位  
濱田 尚里／素根 輝

'21 第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) 女子 78kg 級／女子 78kg 超級 1 位/1 位  
新井 千鶴・向 翔一郎・素根 輝・ウフ アロン・芳田 司・大野 将平

'21 第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) 男女混合団体戦 2 位

**宗像 富次郎 (むなかた とみじろう) 氏 60 歳 (1961. 5. 24 生)**

(日本サーフィン連盟/JOC ナショナルコーチ 日本代表監督)

東京オリンピックにおいて新種目として初参加し、サーフィン代表監督として選手指導しメダル 2 個獲得し、入賞者も排出。国際サーフィン連盟主催の世界サーフィン選手権大会、世界ジュニアサーフィン選手権大会において優勝を含めた好成績を収めた。

第 1 回アジアビーチゲームズ大会において、サーフィン代表監督として金メダルを含めた複数メダルを獲得、長期にわたり日本サーフィン連盟の役員として活躍し、選手層の底上げ及び競技力の向上に尽力してきた。

またサーフィン競技に医科学分野を積極的に取り入れ、これまでにない強化方針を立案し、選手の間接的向上に取り組み、インテグリティ教育などを進んで取り入れている。その他、日本サーフィン連盟のコンプライアンス等の向上にも尽力をしている。

【指導 (サポート) した主な選手】

五十嵐カノア '21 第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) 男子 ショートボード 2 位

都筑 有夢路 '21 第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) 女子 ショートボード 3 位

大原 洋人 '21 第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) 男子 ショートボード 5 位

前田 マヒナ '21 第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) 女子 ショートボード 9 位

村上 舜 '21 2021 世界サーフィン選手権大会 男子 6 位

'21 2021 世界サーフィン選手権大会 日本団体 (チーム) 2 位

**伊田 武志 (いだ たけし) 氏 56 歳 (1965. 10. 12 生)**

(鳥取県スポーツ協会/ボクシング コーチ)

1990 年から現在までの 31 年間、ボクシングジムの会長を務めるかわら国民体育大会において、鳥取県ボクシングチームの監督を務め、小学生から大人まで幅広い年齢層の方を対象に指導し、生涯スポーツとしてのボクシングの普及に尽力している。東日本大震災の際には選手とともにボランティア活動を行い、岩手県ボクシング連盟に用具を寄贈するなど、社会奉仕活動を通じた子ども達への社会教育活動を含めて、地域におけるスポーツの普及にも大きく貢献している。

また、第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京) の金メダリスト、国際大会におけるメダリストを複数輩出している。

**佐藤 博水 (さとう ひろみ) 氏 74 歳 (1947. 4. 8 生)**

(山梨県スポーツ協会/剣道 コーチ・ジュニアスポーツ指導員)

40 年以上の長きにわたり鳴沢村剣道スポーツ少年団の指導者として剣道の指導のみならず、奉仕活動を行うなど青少年の健全育成を目指した活動を実施し、地域のスポーツ少年団活動に貢献している。

また、2012 年に山梨県スポーツ少年団指導者協議会の会長に就任、2018 年には同県スポーツ少

年団で本部長を務め、スポーツ少年団指導者の資質並びに指導力の向上を目指した事業運営にも貢献するなど、様々な事業の企画・運営に尽力するとともに、山梨県広域スポーツセンター運営会議にコーディネーターとして参加するなど総合型地域スポーツクラブとの協働についても尽力している。

**永山 久次 (ながやま ひさつぐ) 氏 69歳 (1952. 11. 11生)**

(岡山県スポーツ協会/ハンドボール コーチ)

幼児から社会人と幅広い年代に対し、ハンドボールの普及・振興に尽力してきた。

1988年には小学生世代へのスポーツの普及・振興のため中四国で初となるジュニアハンドボールクラブを設立し、実技だけでなく、ハンドボールを通じた人格形成に力を入れるなど、青少年健全育成に貢献している。これを契機に、岡山県内には数多くのジュニアハンドボールクラブが立ち上がり、中高校生の登録者も激増した結果、岡山県はハンドボール強豪県となった。また、岡山県ハンドボール協会の理事を務め、若手指導者及び審判員の育成にも取り組んでいる。このような活動を通じ、ハンドボールやスポーツの楽しさを幅広い世代に定着させるなど、地域スポーツの普及・振興に大いに活躍している。

**正村 眞弓 (まさむら まゆみ) 氏 67歳 (1954. 6. 9生)**

(山口県体育協会/ソフトテニス スポーツ少年団登録指導者)

1986年から現在まで36年間にわたり、下関ソフトテニススポーツ少年団の指導者として、数多くの子ども達の指導・育成に力を注いできた。子ども達の人格形成の大事な時期に、スポーツ少年団の理念のもと、ソフトテニスを通じてスポーツを楽しみ、好きになり、これからもスポーツを続けていけるように「楽しみながら学ぶ」を心がけた指導を行っており、指導を受けた子ども達が指導者へと成長している。また、山口県の下関市スポーツ少年団の常任委員に就任し、下関市ソフトテニス連盟では、幼児から小学校低学年を対象とした教室を開催するなど、ソフトテニスの普及と発展に尽力している。

**詫間 茂 (たくま しげる) 氏 74歳 (1947. 9. 29生)**

(香川県スポーツ協会/陸上競技 コーチ)

長年に渡り陸上競技の指導に当たり、情熱を注いでいる。国内はもとより台湾からも選手や指導者を受け入れるほか、公認スポーツ指導者研修会の講師を務めるなど、幅広く活躍している。現在は、陸上競技の指導だけではなく、地域のコミュニティセンターで高齢者を対象とした「健康教室」の講師をボランティアで務めるなど、県の体育・スポーツ界に果たしてきた功績は大である。

以上

※年齢は22年3月11日時点

(お問合せ先)

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団事務局 内橋・澤井  
ミズノ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 木水

TEL. 03 (3233) 7009

TEL. 03 (3233) 7037